

自分にできること

岐阜市立梅林中学校 2年

所美琴(ところ みこと)

私は小さい頃から戦争が大嫌いでした。そんな私は今、プーチン大統領に尋ねたいことがあります。「なぜ戦争をするのですか。多くの人が亡くなり、多くの人が辛く悲しい気持ちになり、世界中が暗い気持ちになります。そんな戦争する意味があるのですか。」

私は、この人たちと会ったり話したりしたことがないけれど、辛い思いをする人がいる戦争は嫌いです。ニュースの映像を見ていて、とても辛い気持ちになります。もし、戦争で自分や自分の家族、周りの人達が辛い思いをしたらと考えると、私は絶対に許すことができません。ウクライナの人たちは、今も目の前で大切な人を、多くの人を失い、大切な場所やものをなくしています。私ならそんな状況はたえられません。「プーチン大統領。あなたはもし自分の目の前で、大切な人を、場所を、ものを失ったとしても戦争をするのですか。自分や自分の周りの人たちが戦争によって辛い思いをしている、と考えたことはありますか。今も攻撃におびえ怖い思いをしている、ウクライナの人たちのことを考えたことがありますか。」私は、ウクライナの人たちのことを考えると、辛くて悲しくて、胸が張りさけそうな気持ちになります。このように考えていたら、戦争は絶対にしません。相手のことを考え、思いやり尊重し合いながら話し合えば、戦争という手段を選ばなくてすむと思います。

私は今、命の危険を感じながら、日々生活しているわけではありません。学校に行って勉強をしたり、本を読んだり、家でテレビを見たり、家族や友達と楽しく話をする事ができています。しかし、ウクライナの人たちは、現在も命の危険を感じ、怖くて眠れない夜を過ごしています。私は、何もできない自分がもどかしいです。安心安全で過ごしていることは、とても幸せなことであると感じています。毎日のようにニュースで聞いたり見たりしている私は、戦争が早く終わること、一人でも多くの人が助かり、少しでも早く元の生活に戻ることを願うしかありません。

世界の問題である戦争に対して、私ができることはありませんが、身近な問題については、私もできることがあると思います。例えば、学校生活の中で誰かとけんかをしたり、自分の意見を押し付けあったりする場面では、相手の意見も聞き、尊重し、話し合うことで解決できます。また、ずっと一人でいる仲間がいたら、声をかけ一緒に話をしたり、仲良くなったりすることができます。このように自分ができることをしていけば、自分の身近な問題は少しずつ無くなっていきます。私だけでなく他の人たちも、多くの人が自分のできることをしていけば、だんだんと問題が少なくなっていきます。そしてみんなが相手を思いやり尊重し、話をすれば、自分にできることをしていけば、周りの人を、世界を救い、変えられるかもしれません。だから私は、私のできることを精一杯していきたいです。他の人にもできることをしてほしいです。

プーチン大統領にも、もう一度戦争について考え直してもらいたいです。今、この戦争によって辛くて苦しい思いをしている人を、ウクライナを、戦争を終わらせて助けることができるのも、世界を平和に変えることができるのも、プーチン大統領一人だけだからです。

早く戦争が終わるように、少しでも被害が少ないことを願って、私は自分ができることをしていきます。